

質問書回答

2016年12月19日

「(案件名)モンゴル国日本モンゴル教育病院運営管理及び医療サービス提供の体制確立プロジェクト
(公示日:2016年11月30日/公示番号:160909)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁番号	質問	回答
1	その他	2016年6月に本案件の詳細策定調査が実施されていると思いますが、その報告書を共有していただくことは可能でしょうか？	追加資料を以下のとおり別途送信いたします。 別添資料「質問1への回答_報告書」
2	RD	RDに付属しているPDMには、2-4-3以降の活動が添付していないので共有していただけませんか？	追加資料を以下のとおり別途送信いたします。 別添資料「質問2への回答_PDM」
3	RD	RDに付属している活動計画表やPDMの一部が読めないので、鮮明なものを頂けませんでしょうか？	PDMは質問2への回答でご用意致しました。 活動計画表は以下のとおり別途追加資料を送信いたします。 別添資料「質問3への回答_PO」

4	RD Input by JICA (c) Machinery and Equipment	「In accordance with necessity of effective implementation of the Project」と記載がありますが、技術協力のために調達すべき機材は活動内容に合わせてコンサルタントが提案可能でしょうか？	提案可能です。
5	RD Input by MECSS	「(d)Means of transport and travel allowances for the JICA experts for official travel within Mongolia」とありますが、見積もりには、車両関連費として、レンタカーや燃料費等を計上しなくてもよろしいのでしょうか？	RD にて先方負担事項は合意しておりますが、見積の計上を妨げるものではありません。
6	RD Input by MECSS	「(h)Running expenses necessary for the implementation of the Project」とありますが、委員会活動やワークショップ、院内研修にかかる費用は、全額、モンゴル側負担という理解でよろしいのでしょうか？プロジェクト側負担とすべき費用は何でしょうか？	モンゴル側及び JICA 側負担とすべき内容は RD に記載している通りです。
7	RD PDM	上位目標の指標に「MJTH is certified as the ISO 9001 (Quality Management System)」とありますが、ISO9001 取得に関するコンサルティング業務は、業務のスコープには含まれておりませんので、本案件の対象外という理解でよろしいのでしょうか？	プロジェクトでは医療サービスの標準化や各種運用規定の策定を行い、ISO9001 に関するコンサルティングは活動に含みませんが、上位目標の指標である日モ病院の ISO9001 の取得を念頭に置いた事業実施を計画しています。

8	RD PDM	プロジェクト目標の指標に「Patient satisfaction for medical services is over XX% on average」とあり、入手手段「Project Completion Report、Monitoring Sheet、Hospital report」とあります。この患者満足度は、モンゴル側で既に実施しているということでしょうか？それとも本案件のスコープとして実施すべき調査でしょうか？	本事業にて実施することを計画しています。
9	RD PDM 事業事前評価表	上記に関連して、事業事前評価表では、「指標の数値は第1回 JCC で合意する。」と記載されております。第1回 JCC までにベースライン調査を実施し、患者満足度の現状を確認する必要がありますでしょうか？	患者の満足度に関する指標の数値は第1回 JCC で合意するために必要となる活動を計画しています。
10	RD PDM	アウトプット1の指標に「The management of MJTH is kept in good shape on a stand-alone basis at the time of the termination of the Project」とありますが、「stand-alone basis」とはどのような状態のことを指していますでしょうか？ Autonomous Hospital のことでしょうか？	stand-alone basis とは、「独立採算」の状態を指しております。
11	日本モンゴル教育病院建設計画準備調査報告書	P25 に、「(図 3-1)は、国立医科大学が検討しているマスタープランに基づく配置の例」とありますが、このマスタープランを共有していただくことは可能でしょうか？	同準備調査報告書の記載を通じて共有している情報の通りです。

12	P11 活動 1-1-4 医療従事者の卒前・卒後教育体制を整備する	「体制の整備」とは、具体的には何を指すのでしょうか？カリキュラム策定か？テキスト策定か？実習教材か？また、実習機材が必要となった場合、その購入は誰が行うのでしょうか？	業務指示書【第2 業務の目的・内容に関する事項】5.(3)のとおり、日モ病院はモンゴルで教育病院として建設される初めての総合病院です。従って、日モ病院では医科大生への卒前研修だけでなく、臨床研修指定病院として医療従事者が適切な卒後研修を受けることができる体制を整備することも計画しており、その計画に必要な活動を想定しています。
13	P12 3)成果 3 P15 医療行為の取り扱い	内科的治療法のうち非侵襲的分野そして、直接患者にかかわらない分野とは、具体的にどのような医療行為を指しているのでしょうか？ 「直接的な医療行為に関連するものは除く」とありますが、脚注で内科的治療法と記載があります。内科的治療法とは、一般的に内科医が実践する治療で、カテーテル治療や内視鏡検査等も含まれます。一方で P15 では、非侵襲的分野と記載があります。	内科的治療法のうち、非侵襲的分野として画像診断、病理診断、遺伝子検査や分子生物学的検査などを計画しています。
14	P13 プロジェクトの実施時期及び無償資金協力事業関係者との情報共有 日本モンゴル教育病院建設計画準備	「日モ病院は2018年7月末に竣工予定」とありますが、現状の進捗状況は、如何でしょうか？準備調査報告書から、推定すると、2016年12月時点で基礎・地下工事が開始されている時期と思われませんが、現状は、如何でしょうか？本体工事の工期が遅れた場合、それに応じてフォローアップなど追加の業務が発生する可能性があります。その場合にはMMを追加することは可能でしょうか？	日モ病院の建設作業は計画通りに進捗しております。建設の遅延等に伴う本事業での対応に関しては、必要に応じ受注者と協議することを考えております。

	調査報告書		
15	P15	「2016年1月、MNUMS関係者は本邦研修招聘事業にて日本の病院視察を行った」とありますが、この招聘事業の報告書を共有していただくことは可能でしょうか？	共有可能な「報告書」はなく、2016年1月25日からモンゴル国立医科大学の関係者12名を招聘し、滞在中における日本の大学病院の運営管理、卒後研修等について視察、意見交換を行った後の報告として、当機構と今後の医科大学病院に関する支援の可能性につき意見交換を行っております。
16	P15 (9)医療情報システム(IT)、物流システム(SPD)	「最終的に導入される全体像及びグレードアップの手順を本プロジェクトからアドバイスする」とありますが、グレードアップの手順は、MNUMSが契約した民間会社が提示する事項ではないでしょうか？	本事業では、日本の総合病院で運用されている、人事管理も含めたITシステムを日モ病院における全体像とした上で、医療情報、物流管理の個別システムを段階的に導入する計画です。これらシステムをどのような手順で導入、ITシステム自体をアップ・グレードする判断は病院マネジメントの業務であることから、本事業での活動として計画しています。
17	P15 (10)高度な救急医療体制	高度な救急医療体制とは、具体的にはどのような体制を指すのでしょうか？日本の場合は、二次救急医療機関、3次レベルとして救急救命センターがあり、さらに高度救急救命センターの設置基準があります。	「高度な救急医療サービスが提供できる体制」を意図しています。なお、日モ病院の位置づけは、業務指示書第2【業務の目的・内容に関する事項】5.(3)のとおりです。

18	P17 活動 1-1-2 医療 情報部門を 設立し、IT に よる病院運営 管理に向けた 戦略計画策 定を行う	「その際、医療情報システムを開発中の民間会社と情報共有を行うことに留意する」とありますが、P15 で記載されています「病院情報システム」とは別システムなのでしょうか？また、「開発している民間会社」とは別会社なのでしょうか？	「医療情報システム」と「病院情報システム」は同じシステムを指しております。民間会社は同じ会社です。
19	P17 活動 1-2-1	「包括的な開院準備計画を策定する」とありますが、計画を策定するのみで実施支援はしなくてよいという理解でよろしいのでしょうか？	1-2-1 で計画を策定し、計画どおりに日モ病院スタッフが開院準備を進められるよう、1-2-2 の活動を行うことを計画しています。
20	P17 活動1 -2-2 等	「本邦研修を実施する」とありますが、本プロポーザル内で、本邦研修に係る費用、MMなどを計上するという理解でよろしいでしょうか？また、事業費の積算のため貴機構とコンサルタントの役割分担を明示していただけませんか。研修管理ガイドラインの通りという理解でよろしいでしょうか？さらに、研修期間や回数はどうのように設定すればよろしいでしょうか？事業費の積算に必要です。	本邦研修の費用及び役割分担は、「コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン」(2016年6月版)をご参照ください。研修期間や回数は、貴社にてご提案ください。
21	P17 活動 1-2-4	「健康支援部門」とは、具体的にどのような活動を行う部門でしょうか？日本の病院では一般的に健康診断や人間ドック事業等を提供する部署を健康支援部門と称しています。一方、大学では、人間工学や産業保健、健康開発科学、精神保健学、臨床心理学、予防医学等を健康支援部門と称しています。	診療支援室を想定しており、基本はソーシャルワーカー的な業務が中心になる予定です。

22	P17 活動 1-2-4 P22 業務従 事者の構成	「健康支援部門、ME 部門など新規に設立された部門に対しては、規定に沿った実際の運用における技術的支援を行う」とありますが、その支援に必要な専門家が配置されておりませんが、誰が担当するのでしょうか？	業務内容を考慮の上、適切な専門家の配置をご提案ください。
23	P17 8)活動 1-2-5	「実際の IT システム導入を支援する」とありますが、システムに必要なハードはモンゴル側負担で導入されるという理解でよろしいでしょうか？	システム導入の支援に必要なハード機材の供与のご提案を妨げるものではありません。 なお、システムに必要なハードに係る経費は別見積りとして下さい。
24	P17 9)活動 1-2-6	物流管理システムには、医療機材はスコープ外という理解でよろしいでしょうか？また、物流管理システムに必要なハードは、モンゴル側負担で導入されるという理解でよろしいでしょうか？	「物流管理システムで管理する物品に、医療機材を含めるのか」、とのご質問と理解致しました。活動 1-2-6 に記載したとおり、「最適な医薬品・医療材料・消耗品等の物流管理システム」を構築を想定しております。また、物流管理システムの構築に必要なハード機材の供与のご提案を妨げるものではありません。なお、システムに必要なハードに係る経費は別見積りとして下さい。

25	P21 技術協力成果品等	技術協力成果品の言語は、モンゴル語で作成するのでしょうか？それとも英語でよろしいのでしょうか？もしくは、個別に英語、モンゴル語と差別化する必要がありますでしょうか？	業務指示書【第2 業務の目的・内容に関する事項】7.(2)技術協力成果品等の作成言語は日本語及びモンゴル語で作成、提出ください。
26	P21 技術協力成果品等	ガイドラインやマニュアルはどこまで承認を得る必要がありますか？国レベル(省庁の承認)か？もしくは病院レベルで得られれば良いのでしょうか？	本事業を実施する過程において、当機構との相談の上、モンゴル側実施機関とご確認願います。
27	P22 業務従事者の構成	副総括/看護・患者管理と記載がありますが、副総括を配置することが必須なのでしょうか？	業務内容を考慮の上、適切な専門家の配置をご提案ください。なお、副総括は、業務管理グループで提案することは可能ですが、必須ではありません。
28	活動全般	業務指示書の活動では、服薬管理や、施設管理、市場調査・マーケティングなどへの支援は記載されていませんが、これらの部門は運用規定、内規等を作成するのみという理解でよろしいでしょうか？	業務内容を考慮の上、プロポーザルを作成ください。

<p>29</p>	<p>p.12 第2 業務の目的・内容に関する事項 「2. プロジェクトの概要」の「成果4: 高度な救急医療の体制が日モ病院で整備される」及び p.18&p.19 第2 業務の目的・内容に関する事項 「6. 業務の内容」の「(5)成果4に関する業務内容」の「(活動4-1) 救急医療担当スタッフを対象に～(中略)～研修を実施する」(第一年次契約期間及び第二年次契約期間にかかる内容)</p>	<p>活動4-1の文中に「研修を実施する」との記載があり、直後の活動4-2の文中には「本邦研修」とございます。この4-1の「研修」は、4-2に記載されている「本邦研修」のことであるとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>
<p>30</p>	<p>p.13 5.実施方針及び留意事項 「(2) プロジェクトの実施時期～」</p>	<p>日モ病院は2081年7月末の竣工予定とされており、本業務は開院前及び開院後によって異なるとの理解しておりますが、ここでいう開院とは本格的な医療サービスが提供されるようになった段階を示しているのでしょうか。或いは開業に漕ぎ着けた段階のことをいうのでしょうか。配布資料R/Dの中のPOを見ると、例えば「活動2-3-2」では開院前の研修が第1年次の終了時までとなっております。これからだと開院は第2年次ということになり、工事竣工後、半年間は医療サービスを提供せず、開業のための準備のみを行うということになります。このことから、既に開業には漕ぎ着けているものの、本格的な医療サービスの提供は第2年次開始頃であるという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>

31	p.18 第2 業務の目的・内容に関する事項 「6. 業務の内容」【第一年次契約期間:2017年2月~2019年2月】の「(5)成果4に関する業務内容」	活動4-1と活動4-2の記述が同文面になっておりますが、活動4-2は「本邦研修で獲得した知識・経験に基づき、迅速な検査・診断・治療を提供するための救急医療センターの人員体制を含む運用規定を策定する」で読みかえてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
32	p.20-21 第2 業務の目的・内容に関する事項 「7. 成果品等」	第二年次における成果品のうちプロジェクト業務完了報告書(第二年次)のCD-Rは、記載言語は和文・英文のみでしょうか、それとも和文・英文・モンゴル語の3言語でしょうか。	CD-Rの言語は和文・英文・モンゴル語です。
33	p.22 第3 業務実施上の条件 「1.業務工程計画」	文章中に「以下の5つの期間に～」とある直後に、「第一年次:~、第二年次:~」と続いておりますが、契約は、2期(第1年次、及び第2年次)に分けて行うという理解でよろしいでしょうか。	業務は2期に分けて実施する計画です。
34	p.22 第3 業務実施上の条件 「2.業務量の目処と業務従事者の構成(案)」の「(2)業務従事者の構成(案)」	評価対象者の等級につき、JICAからのご指示はございますでしょうか。	業務指示書【第3 業務実施上の条件】2.(2)に記載のとおりです。

35	p.22 第3 業務実施上の条件 「2.業務量の目処と業務従事者の構成(案)」の「(2)業務従事者の構成(案)」	「2)副総括/看護・患者管理」との記載がありますが、p.3-4「第5 プロポーザルに記載されるべき事項」の「3 業務従事予定者の経験能力等」には、業務管理グループの構築を認めて頂いている他、p.7「第9 プロポーザルの評価 1)評価対象とする業務従事者の担当分野」では「看護・患者管理」という記載になっております。本案件では、「総括/病院管理」という担当分野に対し業務管理グループを認めて頂いており、業務管理グループを結成する場合は、「看護・患者管理」担当(評価対象)としての要員配置というような理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
36	その他	本案件ではプロジェクト実施期間を通じ、全てレンタカーで対応するという認識でよろしいでしょうか(貴機構事務所による購入や、プロジェクトでの購入は想定されていないということでしょうか)	本事業では車両の購入は現時点では計画しておりません。全てレンタカーで対応するという認識で結構です。
37	その他(本邦研修について)	本案件における本邦研修に際し、コンサルタントの業務範疇は貴機構の定める研修ガイドライン通りでよろしいでしょうか。(「受入」「研修実施」「研修監理」「研修実施報告」のうち、「研修実施」及び「研修実施報告」が本件受注者側の業務範疇という認識でよろしいでしょうか)	「コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン」(2016年6月版)を参照ください。

38	その他(本邦研修について)	本案件での本邦研修の規模等について、JICAからの指示は特にございませんでしょうか。また、その本邦研修の見積は、別見積ではなく本見積に計上するということよろしいでしょうか。或いは、本邦研修の詳細(人数、期間、回数等)は、本業務開始当初に行うMNUMSに係る調査等を通じて策定する本邦研修計画により明確になるため、計画策定の後、修正契約により対応するという理解でよろしいでしょうか。	業務指示書の内容やPOに基づいて、本邦研修の規模、詳細等をご提案ください。見積等経費の取り扱いは「コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン」(2016年6月版)を参照ください。本邦研修計画の実施はワーク・プラン等で適切に管理いたします。 なお、研修に係る経費は別見積りとして下さい。
39	P11 1-2-2 本邦研修 (その他、他項目も共通)	本邦研修の実施費用について、本プロポーザルで提案するという理解で良いでしょうか？他案件では、業務指示書内にプロポーザルに「見積額を記載する」旨、明記されている場合があります。	「コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン」(2016年6月版)に基づき、貴社にてご提案ください。なお、研修に係る経費は別見積りとして下さい。
40	P11 1-2-2 本邦研修 (その他、他項目も共通)	本邦研修の実施に係るMMは、87.5MMに含まれるという理解でしょうか？その場合、プロジェクト目標および成果に対し、全体的に想定MMが少ないように思います。	本邦研修の実施に係るMMは、87.5MMに含まれておりません。
41	P11 1-2-2 本邦研修(その他、他項目も共通)	本邦研修の実施内容はプロポーザルでの提案事項でしょうか？計画内容により、金額に大きな開きが発生する可能性があると思慮します。	プロポーザルでの提案事項です。実施時期の目安はPOをご参照ください。

42	P15 (9) 医療情報システム(IT)	民間会社と契約のうえ、医療情報システム導入の準備中とのことですが、計画内容をお示しください。	MNUMS と民間会社と契約に基づき導入が準備されている医療情報システムです。
43	P15 (9) 物流管理システム (SPD)	モンゴルには他病院等で SPD が導入されているという理解でしょうか？外部業者の有無、業務範囲等、状況等を計画に考慮する必要があります。	他病院で SPD が導入されている、との情報には接していません。
44	P15 (9) 物流管理システム (SPD)	韓国の延生大学病院とありますが、延世大学病院のことでしょうか。	延世大学校の病院のことです。
45	P12 4) 成果4 P18 (5)成果4に関する業務内容	P12 と P18 で、成果 4-2 の記載内容に相違があるように思われます。これらの記載の違いから、救急について本邦での研修を実施するのかが読み取れませんでしたので、ご教授頂けると助かります。	業務指示書【第2 業務の目的・内容に関する事項】2.(5)4)成果4.の4-2 に記載した内容の通りです。同 4-1 のとおり救急に関する本邦研修を実施する計画です。

46	P21 (2)技術協力成果品等	<p>P21 の技術協力成果品等の中に、「4)日モ病院のバランスシート」とあります。こちらも成果品と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>成果品として作成する場合、</p> <p> 成果品として作成するのは、バランスシートのみで良いのでしょうか(損益計算書は不要と考えて良いでしょうか?)。</p> <p> またいつ時点のものを作成する必要があるのかを含めご教授をお願い致します。</p>	<p>業務指示書【第2 業務の目的・内容に関する事項】7.(2)4)の「日モ病院のバランスシート」を、事業収支計画を含む「病院運営管理計画書」と変更します。対象期間はプロジェクト実施期間内におけるモンゴルの会計年度に合わせることを考えています。これに関連して、同5)の「病院運営管理計画」は削除します。</p>
----	-----------------	---	---

以上